



Follow up

本年度会長の時間は3パターン、先週は会員インタビューで、今週はロータリーの話、理事会の話をお願いします。

ご案内の通り毎月理事会は月初に諸々の案件を討議決定し、特に期初第一回目は、この年度を取り仕切る多くの要決議事項、要確認事項があり、週報記載の通りに審議決定しました。

ところで一般の組織では、全会員の集会すなわち総会が最高の意思決定機関になる場合がほとんどです。株式会社では株主総会、社団法人では社員総会。ところがRCでは理事会が最高の意思決定機関です。どこに書いているか？定款と堺RC細則（クラブ定款第11条第1節、第2節、第3節、堺RC細則第13条）です。

理事会が最高の意思決定機関という事は、例えば会長や幹事が地区や他のクラブとどんな約束をしようとも理事会の承認がなければ無効。又、理事会の議を経ないで提案や討議をすることもできません。逆にごく限られた事を除き、会員総会では決定しません。

ここからは、全くの個人的感想ですが、これがあるから百年以上この組織は維持されたのだなと感心させられます。会員は、その分野でその地域で No1 Only1 の選良 選ばれし方々として入会されています。という事はあらゆる事に当然一家言お持ちであり、この一家言お持ちの意思を一つにまとめる事は時に困難であって当たり前です。会員総会にかけた挙句、デッドロックに乗り上げ、会そのものが空中分解するような事が万が一にもないように、かように工夫したのではないのでしょうか？

但し、先ほど限られたことを除きと申し上げました。それが定款第7条第2節、細則第5条第1節の年次総会、ここでは次年度の理事役員を決める事を総会に委ねています。つまりあらゆる事を原則限られた人数のこの理事役員たる会員に任せる、その為はその委ねる人だけは全会員の総会で承認する、そして決まり且つ委ねられた方は、会員を代表して例会外で限られた人数で、ひざ詰めで雑音や暴論などが入り込むことなきよう、会員の為を第一に中立公平に突っ込んで議論し結論を出す、その報告を聞いた会員は自分達が選んだその彼らの決定を尊重する、なるほどこれなら全会員その道の俊英で一家言お持ちの集まりであっても、ブラックスワンが登場する事も防いで、長く組織を維持できる、かように考えているのだと思いました。単年度主義と共に普通の組織とは少し違えたなるほどの工夫だと思い、ここはわたくしがインフォメーションを担当させて頂いた時は、必ず言及させて頂いて参りました。

本日は、理事会にまつわるお話でした、次週は、ロータリー外のネタで登壇させて頂きませう。おやかましゅうございました。